

1 単元名 はじまるよ！がまくんとかえるくん劇場  
教材名「お手紙」(光村図書2年)

2 単元の指導目標

- (1) 場面の様子や登場人物の行動や会話などから想像しながら読んだことが表れるように、音読を工夫することができる。  
(知識・技能)
- (2) 場面の様子や登場人物の行動や会話などに着目して、内容の大体を捉え、理由を想像しながら読むことができる。  
(思考・判断・表現)
- (3) 楽しんで読書をし、自分が想像した思いや考えを伝え合おうとする。  
(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 児童観

本学級の児童に対して、内容の大体を捉え、想像しながら読む力に関する実態調査を行った。調査では、他社教材である「きつねのおきゃくさま」を読んで、中心人物の行動の理由を想像して答える課題に取り組ませた。その結果、中心人物の行動の理由を的確に記述できた児童が\*人、誤答の児童が\*人であった。また、他の場面における中心人物の行動の理由を的確に選択できた児童は\*人、誤答の児童は\*人であった。以上のことから、本学級の児童は内容の大体を捉え、想像しながら読むことに課題があることが分かった。これまでの「読むこと」の学習では、登場人物の行動や会話に着目して内容の大体を捉えることに重点を置いた指導を行ってきたが、これからは登場人物の行動や会話に着目して、内容の大体を捉えたあと、なぜそのようなことをしたり、言ったりしたのかという理由を想像しながら読む指導を行っていく必要があると考える。

(2) 言語活動とその特徴

本単元では、言語活動として、かえるくんとかまくんの出でくる「ふたりはシリーズ」20作品の中からお気に入り作品を選んで演じる「はじまるよ！がまくんとかえるくん劇場」を設定する。まず、登場人物の行動や会話に色分けした線を引いたり、シールを貼ったりして、会話文と行動が誰のものかを明らかにし、登場人物の変容とそのきっかけとなる主な出来事を確認することで、内容の大体を捉える。そして、シールに表情を描いて、演じ、なぜそのような行動や表情になったのかという理由を想像し、登場人物や場面の様子に合った語や文を書き足す。書き足したものをグループで役割分担をして、演じ合い、意見や感想を共有する言語活動である。これらのことで内容C読むことイ「場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。」エ「場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。」を確実に実現できるようにしている。

(3) 教材観

本教材「お手紙」は、手紙をもらったことがないと悲しむがまくんと、そのがまくんをなんとか元気付けようと手紙を書いたかえるくんの二人の心のふれあいが描かれた友情の話で、ほのぼのとしたあたたかさを感じさせる。そして、頼まれた手紙を一生懸命運ぶかたつむりくんと、がまくんを元気づけたいという一心でお手紙の配達をかたつむりくんに頼んでしまったという登場人物の面白さが織り交ぜられており、子供たちの心を引きつける作品である。また、本教材は登場人物の行動と会話で話が展開されており、登場人物がどのような様子でいるのかは語られていない。よって、場面の様子や会話の内容を捉え、想像を広げながら考えていかなければならない。これは、登場人物の心情を想像するための基盤となる行動や会話に着目させる読み方を身に付けさせるのに適した教材であると言える。

(4) 指導観

本単元では一次で、児童に既習教材である「だってだってのおばあさん」の対照的な二場面の本文に、書き足したものが分かるような掲示物を示し、担任がなりきって演じ、課題解決の見通しがもてるようにする。加えて、シリーズ作品を紹介する。二次で、共通教材の「お手紙」の行動や会話に着目し、色分けしたシールを貼ったり、線を引いたりすることで、誰が言ったのか、誰がしたのかを明らかにする。そして、登場人物の変容とそのきっかけとなる主な出来事を確認し、内容の大体を捉えられるようにする。次に、表情をシールに描いて、演じる。そうすることで、なぜそのような表情になったのか、理由を想像することができるようにする。その後、場面や登場人物の様子に合った語や文を、語彙表を活用しながら本文に書き足す。それをグループで役割分担して、なりきって演じ、意見や感想を共有する。三次では、各自読み進めてきたシリーズ作品の中からお気に入り作品を選び、二次で学んだことを基に読む。そして、演じてみて、想像したことから登場人物や場面の様子に合った語や文を、語彙表を活用しながら、本文に書き足す。それをグループで共有して、練り直し、練習して、全体で発表し合う。このように登場人物の行動や会話を捉え、手掛かりにして、演じる学習活動を行うことで、内容の大体が捉えられ、なぜそのような行動や表情になったのか想像しながら読む力が育つであろうと考える。

4 単元の評価規準

知識・技能①	思考・判断・表現②	主体的に学習に取り組む態度③
ア 想像しながら読んだことが表れるように音読を工夫している。	ア 登場人物の行動や会話に着目して、内容の大体を捉えている。 イ 登場人物の行動や会話を手掛かりにして、その理由を想像したり、様子などを本文に書き足したりしながら読んでいる。	ア 楽しんで読書しようとしている。 イ 自分が想像した思いや考えを伝えようとしている。

5 単元の指導計画 (11 時間扱)

次	時	学習活動・内容	指導上の留意点と評価規準 (評価は評)
一	1	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「お手紙」を読んで、学しゅう計画を立てよう。</p> <p>1 今まで学習した文学的な文章を振り返る。</p> <p>2 単元の目標と教師による音読劇「だってだってのおばあさん」を見て、学習の見通しをもつ。</p> <p>3 シリーズ作品の紹介を聞く。</p> <p>4 「お手紙」の範読を聞き、好きなどころ、不思議に思ったところなどを書き出して、共有する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">お気に入り作品をえらんで、がまくんとかえるくんげき場をひらこう。</p>	<p>○これまでに学習した文学的な文章を振り返り、どのような読みをしてきたか、想起させる。その読み方が本単元でも使えそうだと、使って読んでみたいという思いをもたせるようにする。</p> <p>○グッドモデルを見せることで、どんな学習をするのか、具体的にイメージさせ、「やってみたい」「自分もできそうだと」という見通しをもてるようにする。</p> <p>○シリーズ作品を紹介することで、「読んでみよう」「お気に入り作品を見つけたい」と読書意欲がわくようにする。</p> <p>○題名に着目させ、「手紙」と「お手紙」という語を比較し、「お手紙」に対するイメージを出し合い、大事なものだというイメージがもてるようにする。</p> <p>○児童の好きなどころ、不思議に思ったところを出し合い、教材に対する関心を高められるようにする。</p> <p>◎楽しんで読書しようとしている。 (③ア 観察)</p>
二	2	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">かえるくんとがまくん、どちらがなんて言ったのか、何をしたのか、かくにんしよう。</p> <p>1 単元計画を見て、学習の見通しをもつ。</p> <p>2 場面の移り変わる場所に線を入れる。</p> <p>3 会話文に色分けしたシールを貼り、行動を表す語に線を引く。</p> <p>4 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>○単元計画を提示し、学習の見通しがもてるようにする。</p> <p>○これまでに学習した、場面の移り変わりを見つめる視点を再確認し、時・人・場に着目して、移り変わる場所を見つめられるようにする。</p> <p>○がまくんをオレンジ色、かえるくんを緑色とし、本文プリントの会話文にシールを貼り、行動を表す語に線を引くことで、誰が言ったり、したりしたのかが分かるようにする。</p> <p>○シールと線が正しいか、確認する。</p> <p>○この時間に分かったことや考えたことなどを書いて、学習を振り返るようにする。</p> <p>◎登場人物の行動や会話に着目して、内容の大体を捉えている。 (②ア 本文プリント)</p>
	3	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">二人のようすから何があったのかを見つけ、お話のなぐれをたしかめよう。</p> <p>1 玄関の前に座っている二人の2枚の挿絵を比較する。</p> <p>2 どうして二人の様子が変わったのか、原因となる主な出来事を見つける。</p> <p>3 登場人物の変容とそのきっかけとなる主な出来事をワークシートにまとめる。</p> <p>4 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>○同じように見える挿絵を提示し、比較し、違いを見つけるように促す。</p> <p>○2枚の挿絵の違いから、二人の変容に気付けるようにする。</p> <p>○2枚の挿絵のある場面を音読するように指示する。</p> <p>○登場人物の変容とそのきっかけとなる主な出来事を確認し、ワークシートにまとめることで内容の大体が捉えられるようにする。</p> <p>○この時間に分かったことや考えたことなどを書いて、学習を振り返るようにする。</p> <p>◎登場人物の行動や会話に着目して、内容の大体を捉えている。 (②ア 本文プリント、ワークシート)</p>

<p>4</p>	<p>二人の気持ちは同じかな？ちがうかな？ わけをそうぞうしながら、さいしょの場めんの音読げきをしよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 最初の場面を音読する。</li> <li>2 表情をシールに描いて、演じる。どうしてそのような表情になったのかを考えて、付箋に書き、登場人物や場面に合った語や文を本文に書き足す。</li> <li>3 付箋に書いたことと本文に書き足したところをグループで伝え、演じ合い、意見や感想を共有する。</li> <li>4 本時の学習から、この場面の登場人物についてまとめる。</li> <li>5 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</li> </ol>	<p>○玄関の前に二人が座っている最初の場面を音読するように指示する。 ○会話文に貼ったシールに、本時に選んだ登場人物の表情を描いて、演じるように伝える。なぜそのような表情になったのかを付箋に書き、登場人物や場面の様子に合った語や文を、語彙表を活用しながら本文に書き足すように促す。 ○書けない児童は教師のところに集めて、支援する。 ○付箋に書いたことと本文に書き足したところをグループで発表し、感想や意見を共有するように伝える。 ○ワークシートに、本時に選んだ登場人物についてまとめるよう伝える。児童がまとめたことを全体で確認する。 ○この時間に分かったことや考えたことなどを書いて、学習を振り返るようにする。</p> <p>㊦登場人物の行動や会話を手掛かりにして、その理由を想像したり、様子などを本文に書き足したりしながら読んでいる。 (②イ 本文プリント、ワークシート)</p>
<p>5</p>	<p>おうちに帰ったかえるくんは、何をしたかな。そのわけをそうぞうして、音読げきをしよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 おうちに帰ったかえるくんの場面を音読する。</li> <li>2 かえるくんの表情をシールに描いて、演じる。どうしてそのような表情になったのかを考えて、付箋に書き、登場人物や場面の様子に合った語や文を本文に書き足す。</li> <li>3 付箋に書いたことと本文に書き足したところをグループで伝え、演じ合い、意見や感想を共有する。</li> <li>4 本時の学習から、この場面の登場人物についてまとめる。</li> <li>5 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</li> </ol>	<p>○おうちに帰ったかえるくんの場面を音読するように指示する。 ○前時の学習の流れを振り返り、表情をシールに描いて、演じるように伝える。なぜそのような表情になったのかを付箋に書き、登場人物や場面の様子に合った語や文を、語彙表を活用しながら本文に書き足すように促す。 ○書けない児童は教師のところに集めて、支援する。 ○付箋に書いたことと本文に書き足したところをグループで発表し、感想や意見を共有するように伝える。 ○ワークシートに、本時に選んだ登場人物についてまとめるよう伝える。児童がまとめたことを全体で確認する。 ○この時間に分かったことや考えたことなどを書いて、学習を振り返るようにする。</p> <p>㊦登場人物の行動や会話を手掛かりにして、その理由を想像したり、様子などを本文に書き足したりしながら読んでいる。 (②イ 本文プリント、ワークシート)</p>
<p>6</p>	<p>二人のうち、一人をえらんで考えよう。 がまくんの家では、何をしたかな。そのわけをそうぞうして、音読げきをしよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 がまくんの家にもどった場面を音読する。</li> <li>2 選んだ登場人物の表情をシールに描いて、演じる。選んだ登場人物がなぜそのような表情になったのかを付箋に書き、登場人物や場面の様子に合った語や文に本文に書き足す。</li> <li>3 付箋に書いたことと本文に書き足したところをグループで伝え、演じ合い、意見や感想を共有する。</li> <li>4 本時の学習から、この場面の登場人物についてまとめる。</li> <li>5 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</li> </ol>	<p>○がまくんの家に戻った場面を音読するように指示する。 ○前時までの学習の流れを振り返る。選んだ登場人物の表情をシールに描いて、演じるように伝える。なぜそのような表情になったのかを付箋に書き、登場人物や場面の様子に合った語や文を書き足すように促す。 ○書けない児童は教師のところに集めて、支援する。 ○選んで考えた登場人物が同じ児童同士のグループを作る。 ○付箋に書いたことと本文に書き足したところをグループで発表し、演じ、意見や感想を共有するように伝える。 ○ワークシートに、本時に選んだ登場人物についてまとめるよう伝える。児童がまとめたことを全体で確認する。 ○この時間に分かったことや考えたことなどを書いて、学習を振り返るようにする。</p> <p>㊦登場人物の行動や会話を手掛かりにして、その理由を想像したり、様子などを本文に書き足したりしながら読んでいる。 (②イ 本文プリント、ワークシート)</p>

<p>7 本 時</p>	<p>二人のうち、一人をえらんで考えよう。 かえるくんが思わず話してしまった場めんでは、何を したかな。そのわけをそうぞうして、音読げきをしよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 かえるくんが思わず話してしまった場面を音読する。</li> <li>2 自分で選んだ登場人物の表情をシールに描いて、演じる。 選んだ登場人物がなぜそのような表情になったのかを付箋 に書き、登場人物や場面の様子に合った語や文を本文に書 き足す。</li> <li>3 付箋に書いたことと本文に書き足したところをグルー プで伝え、演じ合い、意見や感想を共有する。</li> <li>4 本時の学習から、この場面の登場人物についてまとめる。</li> <li>5 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</li> </ol>	<p>○かえるくんがお手紙のことを思わず話してしまった場 面を音読するように指示する。</p> <p>○前時の学習の流れを振り返る。選んだ登場人物の表情を シールに描いて、演じるように伝える。なぜそのような 表情になったのかを付箋に書き、登場人物や場面の様子 に合った語や文を、語彙表を活用しながら、本文に書き 足すように促す。</p> <p>○書けない児童は教師のところを集めて、支援する。 ○選んで考えた登場人物が同じ児童同士のグループを作 る。</p> <p>○付箋に書いたことと本文に書き足したところをグルー プで発表し、演じ、意見や感想を共有するように伝える。</p> <p>○ワークシートに、本時に選んだ登場人物についてまとめ よう伝える。児童が書いたことを全体で確認する。</p> <p>○この時間に分かったことや考えたことなどを書いて、学 習を振り返るようにする。</p> <p>㊦登場人物の行動や会話を手掛かりにして、その理由を想 像したり、様子などを本文に書き足したりしながら読ん でいる。 (②イ 本文プリント、ワークシート)</p>
<p>8</p>	<p>げんかんの前にすわっているふたりの気持ちは同じかな？ ちがうかな？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 最後の場面の手紙を待っている場面を音読する。</li> <li>2 お手紙の配達を頼んだのが、かたつむりくんによかった のか、二人の様子から想起させる。</li> <li>3 お手紙の内容が変わると、登場人物たちはどうなるのか、 考える。</li> <li>4 本時の学習から、この場面の登場人物についてまとめる。</li> <li>5 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</li> </ol>	<p>○最後の場面を音読するように指示する。</p> <p>○かえるくんがかたつむりくんに配達を頼むところを音 読するように指示する。</p> <p>○かたつむりくんではなく、うさぎに頼んでいたらどうか を問う。</p> <p>○二人で待っている時間が幸せであったから、配達役はか たつむりくんが適役だったことを確認する。</p> <p>○違う内容のお手紙を提示し、お手紙はもらうだけではな く、その内容も大事であることを確認する。</p> <p>○この時間に分かったことや考えたことなどを書いて、学 習を振り返るようにする。</p> <p>㊦自分が想像した思いや考えを伝えようとしている。 (③イ 発表)</p>

三	9	<p>お気に入り作品をえらんで、がまくんとかえるくんのげき場をひらくためのじゅんぴをしよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 お気に入り作品を選び、各自、二次で学んだことを基に読み、内容の大体を捉える。</li> <li>2 表情をシールに描き、演じて、理由を付箋に書く。登場人物や場面の様子に合った語や文を本文に書き足す。</li> <li>3 グループを組む。</li> <li>4 各自が本文に書き足したものをグループで共有する。</li> <li>5 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</li> </ol>	<p>○読み進めてきた4冊のシリーズ作品からお気に入り作品を選び、会話文に色分けしたシールを貼り、行動を表す語に線を引き、会話文と行動が誰のものか捉えられるようにする。表情を描いたり、演じたりしながら、各自登場人物や場面の様子に合った語や文を書き足していけるようにする。</p> <p>○お気に入り作品が同じ児童3～4人のグループを組む。</p> <p>○書き足したものをグループで共有し、グループの台本を話し合うよう助言する。</p> <p>○決まったグループは、練習を始めるように促す。</p> <p>○この時間に分かったことや考えたことなどを書いて、学習を振り返るようにする。</p> <p>㊦登場人物の行動や会話に着目して、内容の大体を捉えている。 (②ア 本文プリント)</p> <p>㊦登場人物の行動や会話を手掛かりにして、その理由を想像したり、様子などを本文に書き足したりし読んでいる。 (②イ 本文プリント、観察)</p>
	10	<p>えらんだお気に入り作品で、がまくんとかえるくんのげき場をひらくためのれんしゅうをしよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 前時、本文に書き足したものを確認し、自分たちが演じる内容を話し合い、練習する。</li> <li>2 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</li> </ol>	<p>○各グループ、前時に作成した台本を確認し、練習に取り組めるようにする。</p> <p>○各グループの進行状況を確認する。</p> <p>○練習が進まないグループには、様子を確認し、助言する。</p> <p>○この時間に分かったことや考えたことなどを書いて、学習を振り返るようにする。</p> <p>○次時が発表会であることを確認し、児童の意欲が高められるようにする。</p> <p>㊦想像しながら読んだことが表れるように音読を工夫している。 (①ア 観察)</p> <p>㊦自分が想像した思いや考えを伝えようとしている。 (③イ 観察)</p>
	11	<p>がまくんとかえるくんのげき場をひらこう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 音読劇を見合い、共有する。</li> <li>2 登場人物の行動や会話を手掛かりにしながら、内容の大体を捉え、演じながら、お気に入り作品を読むことができたか、振り返る。</li> </ol>	<p>○最終練習の後、発表会をすることを伝える。</p> <p>○発表を見た感想を手紙に書いて友達に渡すことを伝える。</p> <p>○グループの発表を見て、よいところを中心に意見や感想を共有させるようにする。</p> <p>○感想を手紙に書いて伝えるようにする。</p> <p>○この単元で学習して分かったことや考えたことなどを書いて、学習を振り返るようにする。</p> <p>㊦想像しながら読んだことが表れるように音読を工夫している。 (①ア 観察)</p> <p>㊦自分が想像した思いや考えを伝えようとしている。 (③イ 本文プリント、発表)</p>

## 6 本時の学習

### (1) 目標

登場人物の行動や会話を手掛かりにしなが、演じる活動を行うことで、行動や表情の理由を想像したり、登場人物や場面の様子に合った語や文を本文に書き足したりしながら読むことができる。

### (2) 準備・資料

学習計画表、本文プリント、意思表示カード、付箋、ワークシート、語彙表、お面

### (3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価（評価は◎）		
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>(1) 前時の学習を振り返る。</p> <p>(2) 本時のめあてを確認する。</p> <p>二人のうち、一人をえらんで考えよう。 かえるくんが思わず話してしまった場めんでは、何をしたかな。 そのわけをそうぞうして、音読げきをしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室に掲示している学習計画表で、前時までの学習を振り返り、登場人物の行動や会話に着目して読み、その理由を想像していくことを確認し、見通しをもって学習が進められるようにする。</li> <li>・登場人物の二人のうち、どちらか一人を選んで考えていくことを確認し、選択するように促す。選択した登場人物が分かるように意思表示カードを机上に出すようにする。</li> </ul>		
<p>2 学習の進め方を全体で確認する。</p> <p>PW → GW → PW → CW → 振り返り</p> <p>3 課題を自力解決する。</p> <p>(1) 表情をシールに描いて、演じる。</p> <p>(2) 登場人物はどうしてその表情になったのかを付箋に書き、登場人物や場面の様子に合った語や文を本文に書き足す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れを確認し、学習への意欲付けを図るようにする。</li> <li>・本時の本文プリントを開き、本時に選んだ登場人物に合った読み方を考えながら音読するように促す。</li> <li>・選んだ登場人物の表情を描き、時間がきたら、表情を描いたところを演じるように伝える。</li> <li>・演じた後、この場面での登場人物はなぜ、そのような表情になったのかを付箋に書き、登場人物や場面の様子に合った語や文を本文に書き足すように伝える。</li> <li>・書き足しの際には語彙表も活用するように促す。</li> <li>・うまく書けない児童は、教師のところを集めて、聞き取りをするなどして、支援する。</li> </ul>		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>○チームかえる</p> <p>・お手紙をまっけて、が んぱっている。</p> <p>→何でも「きつと来る」と言っ て</p> <p>「きつと来るよ。」と【力をこめ て】言いました。</p> </td> <td style="width: 50%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>○チームがま</p> <p>・ふてくされてたけど、おどろい て、よろこんでいる。</p> <p>→かえるくんが自分にお手紙を出し てくれたのが分かったから。</p> <p>・「きみが？」がまくんが【目を丸 くして】言いました。</p> </td> </tr> </table>	<p>○チームかえる</p> <p>・お手紙をまっけて、が んぱっている。</p> <p>→何でも「きつと来る」と言っ て</p> <p>「きつと来るよ。」と【力をこめ て】言いました。</p>	<p>○チームがま</p> <p>・ふてくされてたけど、おどろい て、よろこんでいる。</p> <p>→かえるくんが自分にお手紙を出し てくれたのが分かったから。</p> <p>・「きみが？」がまくんが【目を丸 くして】言いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだ登場人物の表情を描き、時間がきたら、表情を描いたところを演じるように伝える。</li> <li>・演じた後、この場面での登場人物はなぜ、そのような表情になったのかを付箋に書き、登場人物や場面の様子に合った語や文を本文に書き足すように伝える。</li> <li>・書き足しの際には語彙表も活用するように促す。</li> <li>・うまく書けない児童は、教師のところを集めて、聞き取りをするなどして、支援する。</li> </ul>
<p>○チームかえる</p> <p>・お手紙をまっけて、が んぱっている。</p> <p>→何でも「きつと来る」と言っ て</p> <p>「きつと来るよ。」と【力をこめ て】言いました。</p>	<p>○チームがま</p> <p>・ふてくされてたけど、おどろい て、よろこんでいる。</p> <p>→かえるくんが自分にお手紙を出し てくれたのが分かったから。</p> <p>・「きみが？」がまくんが【目を丸 くして】言いました。</p>		
<p>4 付箋に書いたことと書き足したところをグループで伝え合い、演じ、意見や感想を共有する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>○かえるくんは、大じな友だちを 早くよこばせたい、早くえ顔 にしたいと思っている。</p> <p>→思わずお手紙を書いたことを話 してしまったから。</p> <p>『きみがぼくの親友であること をうれしく思っています。【これ からもずっとなかよしでいてく ださい。】』</p> <p>・言い方を考えるとかえるくんの気持ちがあうかんてくる。</p> <p>・○○くんの書き足しで、がまくんのようにすがよく分かった。</p> </td> <td style="width: 50%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>○がまくんは、ふてくされてたけ ど、よろこんでいる。</p> <p>→かえるくんがお手紙を出してく れたのが分かったから。</p> <p>がまくんが【え顔で】言いまし た。</p> <p>「とてもいいお手紙だ。【ありが とう。ぼくは、せかいで一番しあ わせだよ。】」</p> </td> </tr> </table>	<p>○かえるくんは、大じな友だちを 早くよこばせたい、早くえ顔 にしたいと思っている。</p> <p>→思わずお手紙を書いたことを話 してしまったから。</p> <p>『きみがぼくの親友であること をうれしく思っています。【これ からもずっとなかよしでいてく ださい。】』</p> <p>・言い方を考えるとかえるくんの気持ちがあうかんてくる。</p> <p>・○○くんの書き足しで、がまくんのようにすがよく分かった。</p>	<p>○がまくんは、ふてくされてたけ ど、よろこんでいる。</p> <p>→かえるくんがお手紙を出してく れたのが分かったから。</p> <p>がまくんが【え顔で】言いまし た。</p> <p>「とてもいいお手紙だ。【ありが とう。ぼくは、せかいで一番しあ わせだよ。】」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選んで考えた登場人物が同じ児童同士でグループを組む。</li> <li>・付箋に書いたことと本文に書き足したところを伝え合い、感想や意見を共有するよう促す。必ず全員が自分の考えを友達に伝えることを確認する。</li> <li>・共有し終えたら、グループで役割分担して演じ合う。</li> <li>・意見や感想の伝え方のよい児童は賞賛し、手本となるようにする。</li> <li>・友達の意見や書き足しから新しい考えを本文に書き足したいときには、青色鉛筆を使って、新しい考えが分かるように書くようにする。</li> </ul> <p>◎登場人物の行動や会話を手掛かりにして、その理由を想像したり、様子などを本文に書き足したりしながら読んでいます。</p> <p style="text-align: right;">☐（本文プリント、発表）</p>
<p>○かえるくんは、大じな友だちを 早くよこばせたい、早くえ顔 にしたいと思っている。</p> <p>→思わずお手紙を書いたことを話 してしまったから。</p> <p>『きみがぼくの親友であること をうれしく思っています。【これ からもずっとなかよしでいてく ださい。】』</p> <p>・言い方を考えるとかえるくんの気持ちがあうかんてくる。</p> <p>・○○くんの書き足しで、がまくんのようにすがよく分かった。</p>	<p>○がまくんは、ふてくされてたけ ど、よろこんでいる。</p> <p>→かえるくんがお手紙を出してく れたのが分かったから。</p> <p>がまくんが【え顔で】言いまし た。</p> <p>「とてもいいお手紙だ。【ありが とう。ぼくは、せかいで一番しあ わせだよ。】」</p>		
<p>5 クラスで考えを共有する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで共有した付箋に書いたことと書き足したところを数人の児童を指名し、発表するように促す。</li> <li>・GWにより、新しい考えが出たり、考えが変わったりした児童は全体の中で指名し、なぜ変わったのかも発表するように促す。</li> <li>・数人の児童を指名し、前で演じるように促す。</li> </ul>		
<p>6 本時の学習から、この場面の登場人物についてまとめる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・今日のかえるくん お手紙を書いてくれたのを思 わず話してしまった。なぜか という、がまくんを早く元 気づけたいと思ったから。</p> </td> <td style="width: 50%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・今日のがまくん さいしょはふてくされてたけ ど、さいごは明るく元気になっ た。なぜかという、かえるく んが自分にお手紙を書いてくれ たのが分かったから。</p> </td> </tr> </table>	<p>・今日のかえるくん お手紙を書いてくれたのを思 わず話してしまった。なぜか という、がまくんを早く元 気づけたいと思ったから。</p>	<p>・今日のがまくん さいしょはふてくされてたけ ど、さいごは明るく元気になっ た。なぜかという、かえるく んが自分にお手紙を書いてくれ たのが分かったから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時に選んだ登場人物についてまとめるように伝える。そして、終わった児童は、もう一方の登場人物についてもまとめるよう促す。児童がまとめたことから、全体で確認する。</li> </ul>
<p>・今日のかえるくん お手紙を書いてくれたのを思 わず話してしまった。なぜか という、がまくんを早く元 気づけたいと思ったから。</p>	<p>・今日のがまくん さいしょはふてくされてたけ ど、さいごは明るく元気になっ た。なぜかという、かえるく んが自分にお手紙を書いてくれ たのが分かったから。</p>		
<p>7 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数人の児童を指名し、書いたことを発表するよう促す。</li> <li>・次時は最後の場面の学習で、お気に入り作品選びをする旨を伝え、意欲を高めるようにする。</li> </ul>		